

# 令和元年度事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

## 1. はじめに

5月に平成から令和に年号が改まった本年度は、基幹事業である宮城県芸術祭においては、主催団体に公益財団法人仙台市市民文化事業団が新たに加わり、主催8団体として運営基盤を強化し、開催した。

芸術祭統一テーマは「結い～次代へ～」。各部事業における取り組みに加え、テーマイベントでは新元号・令和をもとにしたコラボ企画と次代を意識した洋舞の公演を行い、例年以上の来場者数となり、好評を博すとともに、部門交流・コラボによる本協会が持つ表現力の更なる可能性を事業の成果としても残した。

芸術祭以外の事業としては、国際交流事業において宮城県と連携し、台湾台南市にて開催された和風文化祭の運営に協力。また、次年度に向けた事業準備として、工芸部と写真部が河北新報社との連携事業の検討を重ねるなど、今後の協会運営を見据え、外部機関との関係強化を図りながら、各事業の運営にもあたった。

なお、今後の協会運営に大いに関わることとして、県の県有施設等の再編への動きにも対応。県の各部署との協議を役員等で行い、協会内の意見を集約し、要望書を提出。県側からの回答も得た。本協会の活動目的、社会的位置づけに関わる重要事項として、本件については次年度も動向を注視しながら、対応を継続していく。

また、10月の茶会、長唄演奏会は台風19号の影響により、準備、当日対応に苦慮しながら実施し、3月には新型コロナウイルス感染拡大予防のため音楽コンクール本選とみやぎミュージックフェスタ2020 in しろいし を中止とした。相次ぐこのような事態を受け、事業運営における危機管理の指針、対応の在り方など、次年度へ新たな課題も残る年度ともなった。

## 2. 会員状況

正会員及び名誉会員の総数は、前年度末1,997名から当年度末1,956名。41名の減少となった(新入会員79名・退会会員120名)。また、賛助会員の個人及び団体の総数は前年度末120から当年度末111件(団体75、個人36)。9件の減少となった(新規3[団体1、個人2]、退会12[すべて団体])。過去3年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	平成 28	平成 29	平成 30	令和元			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	90	91	90	88	1	89	△1
絵画部 (洋画)	319	333	346	341	4	345	△1
彫刻部	39	39	40	39	0	39	△1
工芸部	95	86	87	86	1	87	0
書道部	428	416	404	390	1	391	△13
華道部	170	158	147	134	0	134	△13
邦楽部 (三曲)	27	35	39	38	0	38	△1
邦楽部 (長唄)	39	36	34	34	0	34	0
洋楽部	118	126	134	137	0	137	3
演劇部	1	1	1	2	0	2	1
文芸部	273	253	240	240	2	242	2
舞踊部	4	10	13	13	0	13	0
茶道部	315	316	302	286	0	286	△16
写真部	123	122	120	119	0	119	△1
計	2,041	2,022	1,997	1,947	9	1,956	△41
賛助会員	94	97	120	—	—	111	△9
合 計	2,135	2,119	2,117	—	—	2,067	△50

### 3. 会議に関する事項

定時総会、理事会及び監事会を次のとおり実施した。

#### (1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	6月8日	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算の承認について

#### (2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4月19日	芸術協会 会議室	第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算の承認について 第2号議案 2019年度定時総会の開催について 第3号議案 正会員の入会承認について 第4号議案 賛助会員の推薦について
第2回理事会	8月2日	芸術協会 会議室	第1号議案 正会員の入会承認について
第3回理事会	12月6日	芸術協会 会議室	第1号議案 令和2年度事業計画及び予算編成の方針について 第2号議案 賛助会員の推薦について 第3号議案 理事候補者の配分について
第4回理事会	3月16日	芸術協会 会議室	第1号議案 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 正会員の入会承認について 第3号議案 名誉会員の推薦について

※第2回・第4回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

#### (3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4月15日	芸術協会 会議室	平成30年度事業報告及び会計監査

### 4. 事業について

#### (1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

定款第4条(1)に規定する56回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団との8団体共催により開催した。

本年度の統一テーマは「結い～次代へ～」。9月20日(金)に開会式(会場:せんだいメディアテーク・参加者78名)を行い、9月22日(日)には工芸部・書道部・華道部・邦楽部(三曲・長唄)・文芸部・洋楽部・舞踊部(洋舞)によるテーマイベント「結い～次代へ～」(会場:せんだいメディアテーク・来場者1,054名)を開催。11月26日(火)には表彰式(会場:ホテルメトロポリタン仙台・参加者244名)を行った。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

## ①展示関係事業

せんだいメディアテークを会場とし、会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
華道展	9/20～9/25	せんだいメディアテーク 5F	2,316 名	前期 34 点・後期 34 点
書道展	9/20～9/25	せんだいメディアテーク 5・6F	4,019 名	285 点
工芸展	9/27～10/2	せんだいメディアテーク 5F	2,303 名	70 点
写真展	9/27～10/2	せんだいメディアテーク 5F	2,814 名	93 点
彫刻展	9/27～10/2	せんだいメディアテーク 6F	2,358 名	29 点
絵画展	10/4～10/9	せんだいメディアテーク 5・6F	5,927 名	日本画 36 点・洋画 196 点・役員等 84 点

※会期内各展の催し等を次のとおり実施した。

- ◎華道展: チャレンジ席を設けて会員以外の作品(前期 5 点・後期 5 点)を展示。また、会期中中に「いけばなデモンストレーション 2019～ライブで楽しむ『いけばな』～」を 8 流派が日替わりで担当し、実施した。
- ◎書道展: 受賞者による揮毫会を 9 月 22 日(会場:メディアテーク 6 階ホワイトエ・来場者 149 名)に実施した。
- ◎工芸展: 企画展示「秋の日の一部屋」として、小品を展示するコーナーを設け、25 名の会員作品を会期内展示した。
- ◎工芸展: 3 名の染織の会員の制作風景の映像を制作し、会期中に会場にてモニターで紹介した。
- ◎写真展: 企画展「宮城県内高等学校写真部とのコラボレーション」とし、高校生の写真をパネル(36 点)とモニターで会期内会場に展示した。
- ◎写真展(9/28)、彫刻展(9/28)においてそれぞれギャラリートークを実施した。

## ②演奏関係事業

邦楽部(長唄)、洋楽部において次のとおり演奏会を開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	出演者数
長唄演奏会	10/13	トークネットホール仙台	161 名	会員 23 名・外部出演 1 名
音楽会	11/8	日立システムズホール仙台	473 名	会員 22 名・外部出演 5 名

## ③文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり開催した。

文芸祭では文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読、公募の入選発表と表彰を行った。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
文学散歩	10/2～10/3	秋田・横手方面	—	参加者 41 名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	750 部発行
文芸祭	10/26	東京エレクトロンホール宮城	159 名	—

※文芸祭 文芸作品公募応募作品数 ( )=は応募人数

	詩	短歌	俳句	川柳	エッセー	合計
高校生・一般	7(7)	97(49)	165(62)	110(51)	7(7)	386(176)
ジュニア	20(20)	362(274)	66(34)	21(16)	—	469(344)

## ④茶会

茶道部において茶会を次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
茶会	10/13・20・27	輪王寺	3,627 名	12 流派参加

## ⑤人材育成事業

幅広い県民参加の促進と各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

### a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
写真公募展	9/27～10/2	せんだいメディアテーク 5F	2,814 名	入選 91 点(応募 415 点)
絵画展(公募の部)	9/27～10/2	せんだいメディアテーク 6F	2,358 名	128 点
彫刻公募展	9/27～10/2	せんだいメディアテーク 6F	2,358 名	5 点

### b. 音楽コンクールの実施

昨年度コンクールの受賞者への特典とするガラ・コンサートを次のとおりに開催。コンサートでは洋楽部会員による管弦楽団を構成し、出演者と共演した。

また、ピアノ部門、ヴァイオリン部門の 2 部門での音楽コンクールを次のとおり実施した。

なお、音楽コンクール本選(開催予定日 3 月 8 日)は、コロナウイルス感染拡大予防のため、中止とした。

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
受賞者によるガラ・コンサート	9/29	日立システムズホール仙台	受賞等出演 20 名、管弦楽団 21 名	381 名
第 40 回音楽コンクール	予選 2/9	日立システムズホール仙台	ピアノ部門 予選出場:140 名 初級A:18 名、初級B:19 名 中級A:44 名、中級B:29 名 上級A:23 名、上級B:7 名 ヴァイオリン部門予選出場:41 名 初級:21 名 中級:15 名 上級:5 名	583 名

### c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第 1 回写真セミナー	7/12	芸術協会 会議室	16 名	講師:落合 英俊 会員
第 2 回写真セミナー	8/9	芸術協会 会議室	15 名	講師:加藤 友一 会員
第 3 回写真セミナー	9/28	せんだいメディアテーク 7F	14 名	講師:吾妻 克美 会員
第 4 回写真セミナー	10/18	芸術協会 会議室	12 名	講師:関 敏彦 会員
第 5 回写真セミナー	11/15	芸術協会 会議室	13 名	講師:佐々木 光一 会員

※これまで報告した事業に加え、第 63 回仙台三曲協会定期演奏会(10 月 20 日、会場:トークネットホール仙台、来場者 354 名)、第 50 回洋舞公演(11 月 17 日、会場:東京エレクトロンホール宮城、来場者 950 名)、歳末たすけ合い第 57 回各流舞踊大会(12 月 1 日、会場:電力ホール、来場者 1,150 名)、を芸術祭参加行事とした。

## (2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業 2】

定款第4条(2)に規定する本協会の主催及び後援の各事業を次のとおり開催した。

### ①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会など鑑賞する機会を提供することを目的とした事業を次のとおり開催した。

なお、みやぎミュージックフェスタ 2020 in しろいし(開催予定日 3月15日、会場:白石市文化体育活動センター・ホワイトキューブ)は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第56回宮城県芸術祭 絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/13~12/19	東京エレクトロンホール宮城	724名	会員の部 44点 公募の部 16点

### ②伝統文化体験事業

茶道の普及啓発を目的とし、茶会を次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第23回社の都大茶会 [共催:河北新報社]	5/25・26	勾当台公園	8,544名	12流派参加

### ③人材育成事業

芸術文化に関する人材育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
県民との美術交流・ギャラリートーク	10/5	せんだいメディアテーク5F	87名	講師:菅野 正弘氏
第6回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/2~12/8	東京エレクトロンホール宮城	317名	作品展示数:35点 応募:108点

事業名	期日	学校	対象学年	担当会員
書道部による県内小中学校への 講師派遣事業	11/11	大崎市立長岡小学校	3~6年	千葉 華紅
	11/20	塩竈市立月見ヶ丘小学校	5~6年	建部 恭子
	11/28	白石市立白石第二小学校	3年	佐藤 象雲
	11/28	仙台市立台原小学校	4年	小日向 慶可
	11/28	岩沼市立岩沼西小学校	5年	池田 僊雲
	11/29	塩竈市立玉川小学校	6年	村山 柳雅
	12/3	気仙沼市立新月中学校	1~6年	菊田 杏仙
	12/3	気仙沼市立気仙沼小学校	3~6年	武山 櫻子
	12/3	大崎市立松山中学校	1~3年	中塩 朱華
	12/5	大崎市立鹿島台中学校	1~3年	大町 青蓮
	12/16	大崎市立高倉小学校	3~6年	佐藤 紅茜
	12/19	石巻市立飯野川中学校	1~3年	伊澤 香雨

### ④後援事業

「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」など、本協会に本年度申請された 85 件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付(賞状や賞品等)を行った。

### (3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

定款第4条(3)に規定する国内及び国外との芸術文化の交流を目的とした各事業を次のとおり実施した。

#### ①東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各道県を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会主催の交流協議及び事業を次のとおり実施した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
東北・北海道交流写真展	6/12～6/16	コラッセふくしま	300名	作品点数:46点(当協会出品6点)

※協議会事業1『東北・北海道芸術文化団体協議会総会』開催 6月13日 於:コラッセふくしま

※協議会事業2『機関紙「北斗」(44号)の発行』2月28日付発行 1,500部

特集「ふるさとに残る文学碑」本協会執筆担当:坂内 佳禰 理事(文芸部 / 俳句)

◎国際交流事業の一環として、本年度は宮城県と連携し、台湾台南市において開催された「2019 和風文化祭」(10月11日～12月22日、会場:台南市総合芸文センター 他)に参加した。

※和風文化祭1 訪問団を6名(雫石 隆子 理事長[団長]、佐藤 亜美 邦楽部会員、佐藤 将山 邦楽部会員、鍋田 尚男 工芸部会員、鍋田 久美子 氏、沼倉 良郎 事務局長)を10月9日から13日の期間に派遣した。

※和風文化祭2 会場の舞台イベントにおいて、佐藤 亜美 邦楽部会員(箏)、佐藤 将山 邦楽部会員(尺八)が演奏を行った。

※和風文化祭3 会場の作品展示として、工芸部作品を5点(鍋田 尚男 会員[ガラス]、平澤 富子 会員[染織]、山崎 泰子 会員[染織]、岸上 まみ子 会員[陶芸]、馬場 興彦 会員[陶芸])を展示した。

### (4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

定款第4条(4)会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行 (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業一に関する事業を次のとおり実施した。

①主に本協会会員の研修の機会とし、資質の向上と創作・発表活動の活性化に資することを目的としながら、多くの県民にも参加の機会を提供する事業として、各研修事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
絵画部スケッチ研修会	5/18～5/19	岩手県遠野市・宮古市	27名	
講演会	6/8	仙台市福祉プラザ	96名	演題:「新時代の文化芸術振興」 講師:大越 裕光 氏
第46回研修旅行	11/13～11/17	ベトナム・ダナン・フエ	12名	

②本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため、機関紙「はなやま」を次のとおり発行した。

事業名	発行号数	発行日	発行部数	内容
機関紙「はなやま」刊行	220号	5/7	2,550部	総会告知、各事業案内・報告等、2019年度事業計画・予算書、新入会員一覧、企業アンケート結果
	221号	7/31		総会報告、各事業案内・報告等、執行理事誌上座談会、平成30年度決算報告・収支決算、
	222号	10/31		第56回宮城県芸術祭報告、協会の未来(会員紹介)、芸術祭受賞者一覧、芸術選奨受賞報告
	223号	1/31		理事長年頭挨拶、第56回宮城県芸術祭表彰式・下記事業報告、河北連携公募展報告、各部長年賀挨拶